

# 議会報告会実施報告書

開催日時	平成23年 9月 7日(水) 18時30分~20時08分		
開催場所	厚田保健センター 多目的ホール	聴衆	14名
担当議員	2班	伊藤・加藤・片平・和田・阿部・千葉・	

## 報告事項に関する質疑

Q1 泊原子力発電の事故を想定して防災計画をつくる予定はあるのか

A1 はっきりとは決めていない状況。市の方もまだどうするか考えていない。

Q2 札幌市と陸つづきであり、札幌市の発信と連携して考えていけないのか

A2 新聞で見る情報しかないが、議会としてこれから意見をのべていきたい。

石狩も泊から60~70km圏内で、影響があると考えますが、市議会として、まだ討議されていないことを御理解ください。

Q3 厚田地区は、行政無線が入っている。浜益、旧石狩はない。温度差がある。行政無線を全市で利用できるよう議員が議会活動として市に要求してほしい。

A3 合併した後、浜益、厚田、旧石狩で防災対策に温度差がある。同僚議員は6月定例会で質問をしている。現状としては、厚田は防災無線があり、浜益は、分団にあったサイレンが老朽化しており、一部撤去したところを復元している。旧石狩は、防災無線を聞く体制になっていない。9月1日のサイレンについても聞こえないという状況であった。

そのため、J-アラートの整備をすることによって、消防・市役所に無線で情報が入る。学校や病院でも利用できるようになることが大切。

また、日頃の防災訓練も大切なことだ。9月の定例議会や予算・決算委員会など機会あるごとに、生命を守るため努力していきたい。

## 意見及び要望等

Q1 昨年の意見交換会で要望事項が4項目あった。

1. 河川の管理マニュアル作成を強く道に要望すべき。

2. 災害時の指揮命令系統に不安。町内会にも連絡網を作るべき。

3. 議会報告会の報告内容について検討願いたい。

(議論の経緯、会派ごとの賛否、生の議論期待)

4. 国・道に対する要望について、文書で期限を設定し、回答を市民開示してほしい。

このことについてどうなったか。

A1 議会広報や議会のホームページで知らせている。

また、賛否については、個人ごとではなく会派ごとに議会広報に記載している。

今回、各会場の担当議員も入れ替わっており、昨年厚田地区に参加した者として、発言したい。

# 議会報告会実施報告書

議会報告会の内容については、関心時のあることを行うように変更した。また、現場に議員も入るようにした。

賛否の件については、個人別ではなく、会派ごとに議会だよりに表示するようしております。また、国や道への要望については、議会だよりに見やすいよう表示するようになりました。

Q 2 第1回での要望事項の事を第2回で説明し報告してほしい。

A 2 そのようにしたいと思います。

Q 3 厚田川の改修について、22年12月10日に土木現業所の説明があり、今年秋から改修の説明を地元にしていきたいとの話があったが、どうなったか。

A 3 緊急性の高い所で、川下から工事を行っていききたいと聞いている。

進捗状況については、次回に報告していきたい。

Q 4 夜における防災や水害などに頼りになるのが防犯灯だが、市の管理する防犯灯の補修をお願いしても予算がないと言ってすぐに直らない。半年もかかっている。

すぐに直すようにしてほしい。

A 4 聚富地区では、市の管理する防犯灯の補修については、そんな状況にないが、議会でもすぐに直すようにしていきたい。

行政に在籍していたことがあるので一言。

市長・副市長・担当部長などの考え方でどうにでもなると思う。

タウンミーティングの機会でも住民の声として言ってほしい。

Q 5 市町村合併の時に、国民健康保険の赤字が12億円と言っていた。なんとか解消していきたい。昨年の決算でも8億円。

市長の考えもあるが、あとにしていくと赤字が膨れ上がる。単年度での考えを捨て、十分、市長とも協議してほしい。赤字が減っていくのか、増えていくのか。

このままだと、老人が増加することは目に見えていることだから心配だ。

A 5 昨年は、一般会計から1億数千万円を補てんしているが、平等性から言ってもおかしい事。国民健康保険料も年60万円台となっており、負担額としては、限界に近づいていると思っている。また、滞納者も増加しており、滞納率も80%を切っている。全国の市町村は、皆この問題に悩んでいる状況。

国では、広域で行う方法を考えているが、市町村レベルで国保会計を処理する方法は、打つ手がないと考えている。厚田で6割、旧石狩で4割が加入している。市長は、元気で過ごしてほしいと言っているが、健康が一番と考えている。

Q 6 国保については、採算独立性を取っており、厚田村時代は、収納率はよかったと記憶している。収納率によって、国からの調整助成金の率が下がり、悪循環になっている。

A 6 未納者が増えてきている。根本的に変える必要がある。夕張の村上先生の例もある。雇用・景気回復・健康づくりも大事。

ジェネリック医薬品を処方するなど医療費を安くすることも大事。市民が意識をもつことが必要と考える。

